

経営比較分析表（令和2年度決算）

千葉県匝瑳市 国保匝瑳市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	17	-	ドI訓	救急輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
35,542	8,795	第2種該当	-	10:1

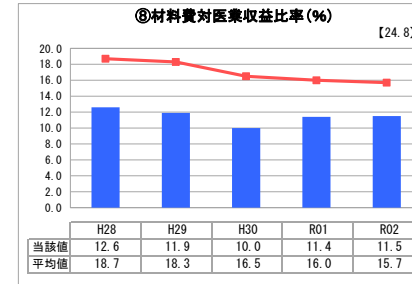
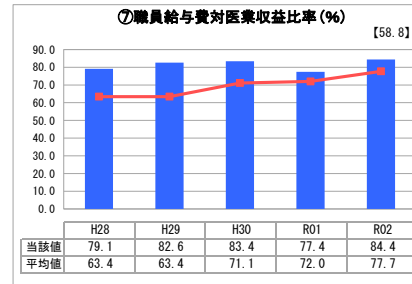
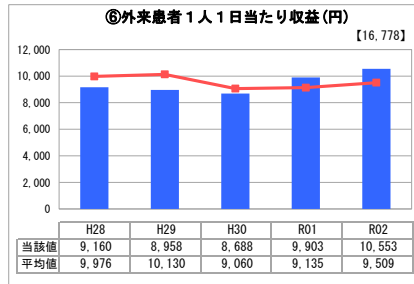
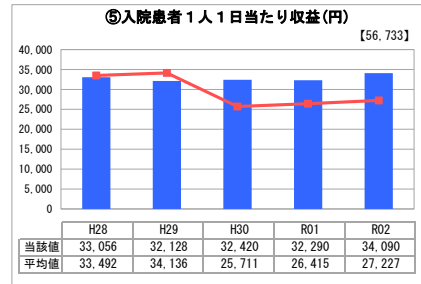
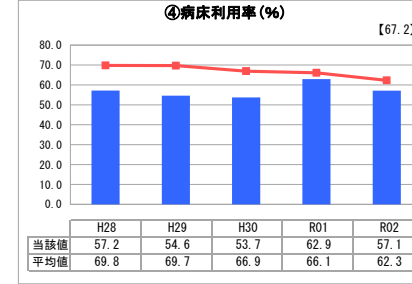
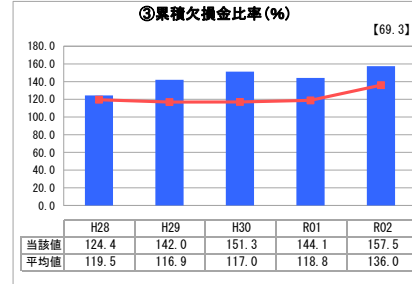
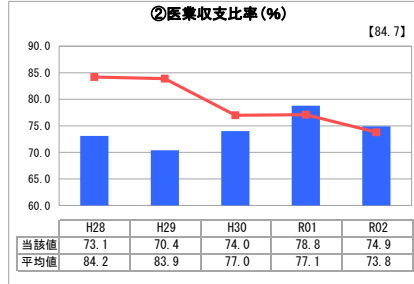
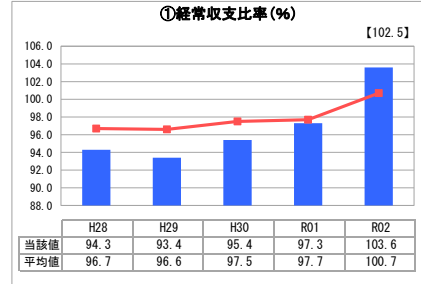
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

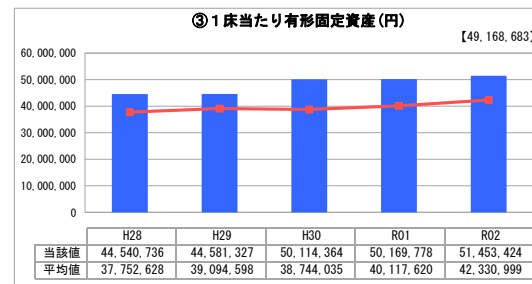
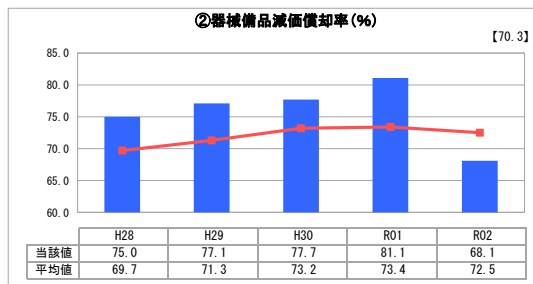
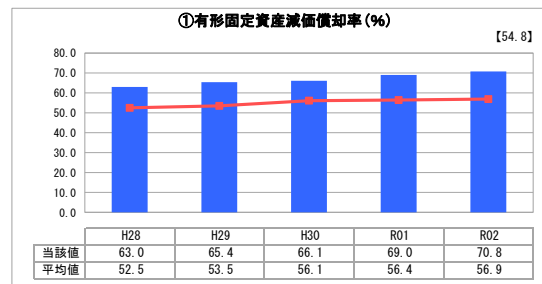
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
99	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	99
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
99	-	99

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
□	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域医療構想において、当院が位置する香取海面地域は、回復期病床が不足することが見込まれていることから、引き続き急性期医療を担っていく一方、高度急性期・急性期を脱した患者の受入れ体制を充実させていく。
また、当医療圏内唯一の在宅療養支援病院として、24時間の住診・訪問看護を提供するとともに、介護老人保健施設を併設し医療から福祉までの切れ目のないサービス提供を行っているところであり、今後も市民が安心して生活できるよう、地域包括ケアの実現を目指していく。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営改善の取組の成果が見え始めたところで、新型コロナウイルス感染拡大があり、患者数の減少とそれに伴う医業収益の減少、補助金の受入れによる経常収益の増加など、経営に大きな影響が出た。
補助金の受入れによる経常収益の増加などにより、経営の健全性を示す経常収支比率は103.6%に上昇した。
患者数の減少により病床利用率は低下し、医業収益の減少により医業本体の収益性を示す医業収支比率は74.9%と低下し、累積欠損金比率、職員給与対医業収益比率は上昇した。

2. 老朽化の状況について

病院施設のうち第1病棟と管理棟のある建物は昭和46年築と最も古く、次いで総合受付・ロビーや外来部門の多くが配置されている建物が昭和48年築、第2病棟が配置されている建物が昭和59年築となっており、老朽化による漏れい箇所不明の雨漏り等により、一部診療業務や患者サービスの提供に支障が出ている。
老朽化の進行度を示す有形固定資産減価償却率は類似団体との比較でも高い数値となっており、施設の老朽化が進んでいることを示している。
器械備品減価償却率は、令和2年度のオーダリングシステムの更新により一時的に数値が下がったものの、全体的には老朽化が進んでいる状況である。

全体総括

令和2年度の経営状況は新型コロナウイルスの感染拡大に大きな影響を受けた。補助金の受け入れにより収益全体では増加したものの、患者数の減少により医業収益は減少した。
令和3年度も患者数は回復せず、経営に大きな影響が出ている。
引き続き、感染症対策に重点的に取り組みながらも、経営の黒字化と効率化に向けて更なる収益増加に関する検討と経費の削減に努めていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。